

## 第7次埼玉県地域保健医療計画（県央保健医療圏）取組状況（No.2）

重点取組	親と子の保健医療対策
目標	安心できる妊娠・出産・育児への支援及び子供たちが等しく愛護され、心身ともに健やかに育つ、親と子への一貫した保健医療対策を充実強化します。
実施主体	市町、児童相談所、学校、医師会、歯科医師会、保健所等

## 市町

## 【鴻巣市】

主な取組	令和3年度		令和4年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 乳幼児健康診査・相談等の充実	妊婦健康診査受診者数 延8,935人 乳幼児健康診査受診者数 2,177人（受診率98.6%） 5歳児健診・相談 37人	疾病・障がいの予防・早期発見・対応、虐待予防等の観点から、未受診者の把握、受診勧奨に努める。	妊婦健康診査 産婦健康診査 乳幼児健康診査 5歳児健診・相談
② 小児期の心の健やかな発達の促進	こどもの心の相談 55人 5歳児健診・相談 37人	就学に向け、教育支援センターとの連携を図っている。民間療育施設も増えており、施設との連携をとる機会が増えてきている。	こどもの心の相談 5歳児健診・相談
③ 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進	市内の小中学校で思春期防煙・薬物乱用防止教室を開催。 小中学校19校 2510人に実施	他の学校行事との日程調整が困難なことがある。	市内の小中学校で思春期防煙・薬物乱用防止教室を開催。 小学校13校 中学校3校で実施予定
④ 小児救急医療の適正受診の推進等	小児救急電話相談番号を広報で毎月周知した。	市内に、小児科が少ない。市内に休日夜間診療を行なっている小児医療機関がない。	小児救急電話相談番号を広報で毎月周知する。
⑤ 歯科保健医療対策の充実	保育所（園）8所及び児童発達支援センターにて年2回の歯科検診実施。保健だよりにて歯と口の健康についての情報の発信。	保育所にて、新型コロナの感染予防の観点から昼食後の歯磨き指導を行っていない。	保育所（園）及び児童発達支援センター年2回の歯科検診の実施。歯と口の健康週間講演会の開催。

## 【上尾市】

主な取組	令和3年度		令和4年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 乳幼児健康診査・相談等の充実	4か月児健康診査：年26回実施 受診率96.9% 1歳6か月児健康診査：年28回実施 受診率94.6% 3歳児健康診査：年29回実施 受診率89.3% 10か月児健康相談：年12回実施 受診率41.1% 乳幼児健康相談：年12回実施 受診者数1269人	健診未受診者への対応 新型コロナウイルス感染防止に留意し、安全・安心に集団健診を実施する。	4か月児健康診査：年26回実施 1歳6か月児健康診査：年26回実施 3歳児健康診査：年28回実施 10か月児健康相談：年12回実施 乳幼児健康相談：年12回実施
② 小児期の心の健やかな発達の促進	ことばの遅れや、情緒・行動に心配のある幼児に対して、心理・言語の専門スタッフによる、ことばとこころの相談を実施 ことばとこころの相談：年26回実施 受診者数434人	専門職（心理士、言語聴覚士等）の確保 就学へのつなぎ、関係機関との連携	ことばとこころの相談 年24回実施
③ 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進	・各校薬物乱用防止教室1回以上実施 ・小5から中3にかけ、保健分野において「思春期の心」「エイズ」「喫煙」「飲酒」「薬物乱用」「性への関心と行動」「性感染症」に関する学習を実施	・コロナ禍により、薬物乱用防止教室が保護者も一緒に参加できないことがあること。	・各校薬物乱用防止教室年1回以上実施 ・小5から中3にかけ、保健分野において、思春期の健康教育に関わる各内容を遺漏なく実施
④ 小児救急医療の適正受診の推進等	平日夜間及び休日急患診療所の開設（平日夜間：243日、休日：71日。小児科患者数、平日夜間：111人、休日：345人）	土曜日に開設していない（地域の医療機関が診療を行っているが、短時間の診療となっていることが多い）	平日夜間及び休日急患診療所の開設（平日夜間：244日、休日：71日）
⑤ 歯科保健医療対策の充実	歯科健診（プレママ教室）年6回実施 受診人数139人 フッ素塗布 年14回実施 塗布者数431人	事業対象者に対し、適切な周知案内を行い利用につなげていく。	歯科健診（プレママ教室）年6回実施 フッ素塗布 年12回実施

## 【桶川市】

主な取組	令和3年度		令和4年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 乳幼児健康診査・相談等の充実	A：4か月児健診受診者423名 1歳6か月児健診受診者467名 3歳3か月児健診受診者485名 7・10か月児相談来所者785名 こんには赤ちゃん訪問事業把握率100%  B：こどもと家庭なんでも相談75件 いつも子育てメール相談16件	A：健診未受診者は面接や訪問で目視確認している。複雑な家庭事情等により、把握が難しいケースが増えているが、健診受診勧奨と未受診者の把握を継続していく必要がある。  B：メール相談で養育や虐待の心配があるケースは連携して支援をするが、そもそも個人が特定できない場合もある。	A：4か月児健診受診者・1歳6か月児健診受診者・ 3歳3か月児健診受診者・7・10か月児相談来所者・ こんには赤ちゃん訪問事業の実施  B：こどもと家庭なんでも相談80件 いつも子育てメール相談20件
② 小児期の心の健やかな発達の促進	すこやか相談の利用者1名	育児不安を抱える保護者は増えているが、相談対応できる臨床心理士は1名のみであり、今後の専門職の確保が難しい。	すこやか相談の実施

③ 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	小・中学生向けの講座として、教室の内容の充実を図り継続していく必要がある。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。
④ 小児救急医療の適正受診の推進等	救急電話相談（#7119）の案内を、毎月広報、ホームページに掲載し、周知を図った。「こどもの救急ミニガイドブック」を生後1～2か月頃に配布し、正しい受診方法の普及啓発を行った。	今後も継続した周知・啓発活動が必要である。	救急電話相談（#7119）の案内を、毎月広報、ホームページに掲載し、周知を図っている。「こどもの救急ミニガイドブック」を生後1～2か月頃に配布し、正しい受診方法の普及啓発を行っている。
⑤ 歯科保健医療対策の充実	妊婦歯科健診を実施。受診者数12名。1歳6か月児健診、3歳3か月児健診で歯科健診・歯科指導を実施。受診者数467名（1歳6か月児健診）、485名（3歳3か月児健診）。1歳後より、フッ素塗布を実施。受診者数280名。	妊婦歯科健診の受診率を向上させる必要がある。乳幼児に向けて、むし菌等の健康格差を縮小させる必要がある。	妊婦歯科健診、1歳6か月児健診と3歳3か月児健診での歯科健診・歯科指導、フッ素塗布を実施。

### 【北本市】

主な取組	令和3年度		令和4年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 乳幼児健康診査・相談等の充実	<b>【健康診査等】</b> ・妊娠届 333人 ・妊婦健康診査 4061回 ・新生児聴覚検査 302人 ・乳児健康診査 24回 342人 ・1歳6か月児健康診査 23回 392人 ・3歳児健康診査 12回 365人 <b>【健康相談等】</b> ・利用者支援事業面接相談 延756人 ・利用者支援事業電話相談 延636人 ・産前サポート事業 23回 延14人 ・産後ケア事業 23回 延84人 ・プレママセミナー 12回 157人 ・9か月児育児相談 24回 284人 ・乳幼児育児相談 12回 194人	・妊娠期、出産期、子育て期の切れ目ない支援ができるよう、関係機関との更なる連携を図る必要がある。	<b>【健康診査等】</b> ・妊婦健康診査 ・新生児聴覚検査 ・産婦健康診査（新規） ・乳児健康診査 24回 ・1歳6か月児健康診査 24回 ・3歳児健康診査 12回 <b>【健康相談等】</b> ・利用者支援事業面接・電話相談 随時 ・産前サポート事業 24回 ・産後ケア事業 24回 ・プレママセミナー 14回 ・オンラインプレママセミナー 3回 ・9か月児育児相談 24回 ・乳幼児育児相談 12回
② 小児期の心の健やかな発達の促進	・1歳6か月児健診事後相談 9回 28人 ・1歳6か月児健康診査時、心理士相談	・児童心理を専門とした心理士等の安定的な任用が課題である。	・1歳6か月児健診事後相談 12回 ・1歳6か月児健康診査時、心理士相談 ・3歳児健康診査時、心理士相談
③ 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進	・健康・安全に係る指導は、小・中学校全校で実施。 ・生徒の発達の段階、自殺の多く発生しやすい時期を踏まえた指導を、学校や学年、学級の実態に応じて行った。		・健康・安全に係る指導を実施を継続 ・特別活動での取組は、学校の実態に応じて実施
④ 小児救急医療の適正受診の推進等	・出生時、乳児健診時の個別周知実施。「#8000」を知っている保護者の割合84.2%	健診等の機会に、発達状況に応じた適切な受診方法等の啓発について、今後も継続する必要がある。	・出生時、乳児健診等における個別周知実施
⑤ 歯科保健医療対策の充実	・妊婦歯科健診 111人 ・1歳6か月児歯科健診 392人 ・3歳児歯科健診 365人	妊婦歯科健診について、子育て世代包括支援センター等で、積極的に周知を図っていく。	・妊婦歯科健診 ・1歳6か月児歯科健診 24回 ・3歳児歯科健診 12回

### 【伊奈町】

主な取組	令和3年度		令和4年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 乳幼児健康診査・相談等の充実	乳児健診281名、1.6歳児健診273名 3歳児健診334名、乳児相談12回241名 育児相談12回139名、幼児相談12回62名	健診未受診者へのアプローチ	乳児相談、1.6歳児健診、3歳児健診、乳児相談、育児相談、幼児相談 すべて月1回実施
② 小児期の心の健やかな発達の促進	すこやか子育て見守り事業（4～5歳児で集団に所属のない者とその保護者への支援）の実施		乳幼児相談等における支援体制の充実 すこやか子育て見守り事業（4歳児で集団に所属のない者とその保護者への支援）の実施
③ 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進	健康増進課としての実施はなし。学校授業の一環として実施。		健康増進課としての実施はなし。学校授業の一環として実施。
④ 小児救急医療の適正受診の推進等	小児初期・同二次救急事業の円滑な実施		小児初期・同二次救急事業の円滑な実施
⑤ 歯科保健医療対策の充実	妊婦歯科検診 受診者39名 幼児向けフッ素塗布 塗布者124名		妊婦歯科検診 幼児向けフッ素塗布 それぞれ2か月に1回実施

医師会

【北足立郡市医師会】

主な取組	令和3年度		令和4年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 乳幼児健康診査・相談等の充実	3歳児検診	斜視・屈折異常の早期発見	スポットビジョン、スクリーナー検査を導入
② 小児期の心の健やかな発達の促進	5歳児検診	担当医の確保が難しい	広く医師の確保に努める
④ 小児救急医療の適正受診の推進等	二次救急	空白の時間があった(日曜日の午後6時から翌月曜日の午前9時まで)	北里大学メディカルセンターが新たに担当となった

【上尾市医師会】

主な取組	令和3年度		令和4年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 乳幼児健康診査・相談等の充実	医師派遣 4か月児健康診査 年26回実施 受診率96.9% 1歳6か月児健康診査 年28回実施 受診率94.6% 3歳児健康診査 年29回実施 受診率89.3%	健診未受診者への対応 新型コロナウイルス感染防止に留意し、安全・安心に集団健診を実施する。	医師派遣 4か月児健康診査 年26回実施予定 1歳6か月児健康診査 年26回実施予定 3歳児健康診査 年28回実施予定
④ 小児救急医療の適正受診の推進等	平日夜間及び休日急患診療所の開設 (診療日数) 平日夜間243日、休日71日 (小児科診療数) 平日夜間195人、休日907人	土曜日に開設していない。	平日夜間及び休日急患診療所の開設 (診療日数予定) 平日夜間244日、休日71日

歯科医師会

【北足立郡市歯科医師会】

主な取組	令和3年度		令和4年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 乳幼児健康診査・相談等の充実	各市町乳幼児健康診査・相談事業へ歯科医師・歯科衛生士派遣	歯科医師会会員、県民への周知・啓発をさらに図る必要がある	各市町乳幼児健康診査・相談事業へ歯科医師・歯科衛生士派遣
② 小児期の心の健やかな発達の促進	埼玉主催 小児期からのフッ化物応用のすすめ 令和3年12月16日 1名参加	歯科医師会会員、県民への周知・啓発をさらに図る必要がある	小児期の心の健やかな発達の促進を目的とした研修会受講予定
③ 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進	埼玉主催 小児期からのフッ化物応用のすすめ 令和3年12月16日 1名参加	歯科医師会会員、県民への周知・啓発をさらに図る必要がある	思春期の保健対策の強化と健康教育の推進を目的とした研修会受講予定
⑤ 歯科保健医療対策の充実	各市町乳幼児健康診査へ歯科医師・歯科衛生士派遣	歯科医師会会員、県民への周知・啓発をさらに図る必要がある	各市町乳幼児健康診査へ歯科医師・歯科衛生士派遣

保健所

【鴻巣保健所】

主な取組	令和3年度		令和4年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 乳幼児健康診査・相談等の充実	・管内市町母子保健担当者会議の開催 6月1日開催 11名参加 「管内市町母子保健事業一覧」を作成し情報共有 ・母子保健担当者資質向上のための研修会 11月9日開催 21名参加	社会情勢の変化を踏まえて、相談体制の充実を図るとともに関係機関同士の関係づくりが必要である。	集合形式で年2回開催予定(6月・11月)6月は「管内母子保健事業一覧」を更新し、情報共有と意見交換 11月は、相談受理に関する研修を予定
② 小児期の心の健やかな発達の促進	・子どもの心の健康相談の実施 相談件数延べ 17件 ・個別相談 面接:16件 電話:49件	子どもの心の健康相談の実施が月一回のため、タイムリーに相談を利用できないことも多い。	・子どもの心の健康相談の実施(月1回) 管内市町保健分野、教育分野への周知
③ 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進	・ゲーム、ネット依存症に関する研修会 1月18日～31日関係者向け限定動画配信 84名参加	コロナ禍により子どもたちが自宅で引きこもりがちな生活を送る中で、不登校とともにゲーム依存、ネット依存が課題となっている。	・不登校に関する関係者向け研修会(1月) ・学校における健康課題解決支援事業に係る検討委員会等への参加(9月・12月)
④ 小児救急医療の適正受診の推進等	埼玉県中央地区第二次救急医療圏救急医療対策協議会:コロナ禍の影響により中止、資料配布のみ R4.1.9～日曜夜間帯の空白時間解消	祝日・年末年始の夜間帯の空白時間の解消	埼玉県中央地区第二次救急医療圏救急医療対策協議会(2月)
⑤ 歯科保健医療対策の充実	①保健所歯科保健推進会議 10月28日開催 26名参加 ②口腔ケア研修会 1月27日開催 34名参加	管内市町間での歯科保健に対する格差を縮めるための働きかけが必要。	①保健所歯科保健推進会議 開催予定 ②口腔ケア研修会 11月開催予定